

犯罪学

科目ナンバリング CRL-303
選択 2単位

宣 善花

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、なぜ犯罪が生じるのかについて、生物学、心理学、社会学等を利用した分析手法を取り上げる。前半では、犯罪統計を的確に読み、犯罪の動向や犯罪者の動向を把握する。その後、日本の刑罰制度の現状を分析する。後半では、犯罪生物学をはじめとする犯罪理論を学び、犯罪と刑罰について理解を深める。

2. 授業の到達目標

- ① 日本の刑罰制度のついて説明することができる。
- ② 犯罪理論について説明することができる。
- ③ 個別の犯罪対策について自分の意見をまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験の成績(70%)

適宜、小テスト・リアクションシート(30%)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定しません。レジユメを配布します。

参考文献

守山正・安部哲夫〔編著〕 ビギナーズ犯罪法 第2版 成文堂(2020)
守山正・安部哲夫〔編著〕 ビギナーズ刑事政策 第3版 成文堂(2017)
朴元奎＝太田達也〔編〕 リーディングス刑事政策 法律文化社(2016)
法務総合研究所編 令和3年版犯罪白書 法務省

5. 準備学修の内容

事前に配布された資料を読んで来てください。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・イントロダクション:犯罪学について
- 【第2回】 犯罪の動向
- 【第3回】 犯罪者処遇の動向
- 【第4回】 刑罰制度(1) 死刑
- 【第5回】 刑罰制度(2) 自由刑
- 【第6回】 刑罰制度(3) 財産刑
- 【第7回】 個別犯罪対策(1) 薬物事犯
- 【第8回】 個別犯罪対策(2) 高齢者犯罪
- 【第9回】 犯罪学と刑事政策
- 【第10回】 犯罪原因論(1) 古典派犯罪学、犯罪生物学
- 【第11回】 犯罪原因論(2) 犯罪心理学的アプローチ
- 【第12回】 犯罪原因論(3) 犯罪社会学的アプローチ
- 【第13回】 新たな展開(1) ラベリング論、コントロール論
- 【第14回】 新たな展開(2) 環境犯罪学(オンライン)
- 【第15回】 まとめと試験